

仕 様 書

1. 概要

小白浜ポンプ場は令和元年の台風 19 号により被災（水没）し、応急復旧を行い現在稼働している。

応急復旧の際に、最低限の施設のみを復旧し、未だ取水流量計を復旧されていないことから、取水流量計が無いことにより、取水流量が不明の場合、ろ過流量との比較による施設の異常が監視出来ない。

以上のことから、流量計の交換工事を実施することにより安全安心な水道水の安定供給を図るものである。

2. 設備機器

【小白浜ポンプ場】

（１）電磁流量計 N = 1 台

（参考）既設流量計 製 造 元：横河電機株式会社

検出器型式：AXF100G

変換器型式：AXFA11G-D1-01

3. 工事範囲

- （１）流量計の据付工事
- （２）各機器間のケーブル配線、配管工事
- （３）既設流量計撤去工事
- （４）その他上記に関連する諸工事及び試験調整

4. 機器仕様

【小白浜ポンプ場】

（１）電磁流量計

- （ア）数 量 1 台
- （イ）型 式 電磁流量計 一般型（別置変換器）
- （ウ）口 径 100A
- （エ）電 源 AC100V 50/60Hz
- （オ）その他 その他必要なもの 1 式

5. その他

水道法第21条及び水道法施行規則第16条の規定により定期的な健康診断が義務付けられていることから、施設へ入場する作業員全員分の

- ・ 病原性大腸菌
- ・ サルモネラ
- ・ 赤痢菌

について、施設立入日から6か月以内の陰性報告を監督員まで提出のこと。
陽性の場合は入場不可とする。

その他不明な点があるときは、その都度監督員の指示を受けること。

【水道法（抜粋）】

（健康診断）

第二十一条 水道事業者は、水道の取水場、浄水場又は配水池において業務に従事している者及びこれらの施設の設置場所の構内に居住している者について、厚生労働省令の定めるところにより、定期及び臨時の健康診断を行わなければならない。

2 水道事業者は、前項の規定による健康診断を行つたときは、これに関する記録を作成し、健康診断を行つた日から起算して一年間、これを保存しなければならない。

【水道法施行規則（抜粋）】

（健康診断）

第十六条 法第二十一条第一項の規定により行う定期の健康診断は、おおむね六箇月ごとに、病原体がし尿に排せつされる感染症の患者（病原体の保有者を含む。）の有無に関して、行うものとする。

2 法第二十一条第一項の規定により行う臨時の健康診断は、同項に掲げる者に前項の感染症が発生した場合又は発生するおそれがある場合に、発生した感染症又は発生するおそれがある感染症について、前項の例により行うものとする。

3 第一項の検査は、前項の検査を行つた月においては、同項の規定により行つた検査に係る感染症に関しては、行うことを要しない。

4 他の法令（地方公共団体の条例及び規則を含む。以下本項において同じ。）に基づいて行われた健康診断の内容が、第一項に規定する感染症の全部又は一部に関する健康診断の内容に相当するものであるときは、その健康診断の相当する部分は、同項に規定するその部分に相当する健康診断とみなす。この場合において、法第二十一条第二項の規定に基づいて作成し、保管すべき記録は、他の法令に基づいて行われた健康診断の記録をもつて代えるものとする。